

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

矢島玄亮氏 岸本奨励賞を受賞

本館古典目録編纂室の矢島玄亮氏が、昭和52年度の岸本奨励賞を受賞された。授賞式は6月1日（水）東京一橋講堂における第24回国立大学図書館協議会の席上で行なわれ、氏も上京、晴れの表彰を受けられた。

今回の氏の授賞は、昨年文部省科学研究費補助金を得て刊行された労作「徳川時代^{出版者}集覧」に対してであるが、同書の内容については既に本紙第3号（昭和51年10月）に載せられているので、ここでは氏のひととなりについて紹介することにする。

氏は明治36年埼玉県羽生市に生れた。東洋大学および大東文化学院の学究生活ののち、一時福岡の修猷館中学で教鞭をとられた。昭和7年、本館に奉職され、同14年に当時としては数少ない司書に任ぜられ、以後激動期の図書館を支える柱となられた。31年からの和漢書目録掛長時代を経たのち、40年には館人としては異例の教官（文学部助教授）への抜擢を受けられ、改めて研究者としての氏の蓄積された広範な業績が大学の内外に紹介されることとなった。

42年3月退官されたが、ひき続き本館嘱託として古典目録編纂室に残られることとなり、数うれば、今年を以て実に45年余の館人生活を貫かれておられることとなる。

氏のモットーは「拙速」である。事にあたって、「あとでやろう」とか「誰かにして貰おう」とかいう懈怠の心の生ずるのを戒めるためである。氏は幼くして御両親を失われ、早くから独歩の生活を余儀なくさせられたため、何事も自分で処理しなければならなかった。その後、僧籍に入られその生活を練磨されたことによってその傾向はより大きくなった。そのことが、少なくとも氏の参考業務活動の推進力となったことは天の配剤というものであろう。氏はあらゆる種類の参考質問にたちどころに答えられるようにするため、あらゆる方面の二次資料の作製を心がけられた。

「深い研究は次でよい、まず短時間で目指す資料に到達できること—それが参考活動に対する利用者の端的な要求でもある」と氏は考えられている。

赫々たる氏の業績面については、本学記念資料室作成（昭和42年3月）の「矢島玄亮助教授著作目録」また本館発行の「図書館学研究 報告 創刊号」（昭和43年9月）所収の「図書館の矢島玄亮先生」の紹介文、或は「図書館学等参考資料分類

別一覧一和漢書—（未定稿）」（昭和50年3月）等に見えたとおりであるが、なお余人の手により追加著作目録（稿）或は単刊書を主とする著作目録（抄）等の編まれつつあることも聞いている昨今でもある。

附言するに、「徳川時代^{出版者}集覧」に続き、既に昨夏 同書の「続編」が出版され、更に名著「和漢古書目録法の知識」も刊行されている。更に今後も氏の著作の予告出版も、企画されていることも聞く。

館界に連なる後進を裨益するために、氏の^{いよいよ}御健筆を希うとともに益々の御著作を心から待ち望む次第である。

第24回国立大学図書館協議会総会

＜と き：昭和52年6月2～3日

ところ：東京・一橋講堂・如水会館＞

上記の会議は、東京地区の加盟館が当番館となり、全国々立大学附属図書館から館長・事務（部）長等の幹部職員が参集して開催された。文部省からは、第2日目に今村学術国際局長が挨拶に見えた他、勝谷情報図書館課々長、杉山同補佐、田中専門員、雨森大学図書館係長が終始協議に参加した。会議では、大学図書館改善、機械化、相互協力、外国雑誌の4つの調査研究班の報告が行われ、大学図書館基本問題特別委員会の報告を中心として研究集会がもたれた。協議は、3つの分科会に分れて行われたが、予算・人事・運営についての議論のまとめは、例年のとおり、後日の常務理事会において、文部省、大蔵省等への要望書の形で文章化される筈である。

また、総会を機に、岸本奨励賞の授賞式が行われ、授賞対象となった4件の内に、本館から古典目録編纂室の矢島玄亮氏の功績が選ばれた。（別項参照）

本館からは、和田館長、長尾事務部長、石川閲覧課長が出席したが、和田館長は第2分科会主査として人事・予算等に関する協議のまとめを行い、長尾事務部長は、外国雑誌調査研究班主査として報告を行った。また、初日に行われた役員改選の結果、会長館に東京大学、副会長館に京都大学、東北大学がそれぞれ再選された。明年度の当番地区は、関東地区、会場館は、筑波大学の予定である。

「須永蔵書」の受贈について

このたび、農業経済学の領域における「農業技術」、「日本地主制」に関する分野の権威であり、「東北農業の特質構造」について、これを農業経済学の立場から総合的に体系づけられた故須永名誉教授の旧蔵書を、先生のご遺志によって本館が寄贈を受けることになった。

故須永教授の主な研究主題は、わが国小生産農業における農業技術特に肥料、品種改良、農具（機械化）、土地改良についての経済学的研究、農村労働力と資本主義経済との関連、農業機械化の理論と農業共同化の対応関係、日本資本主義経済との関連における東北水稲単作地帯の問題、水田農業の近代化等に代表される。さらに稲作農業と並ぶ東北における養蚕、酪農、果樹農業など本来的に小農のもつ自給性と商業性のいわゆる商業的農業、農家適正規模、農家経済、農地改革など特異的地域の現地調査、研究を指導的な立場で行なっておられた。このことから察せられるように、愛蔵の蔵書は、農業行政、農業政策、土地制度、農業経営等を中心とする基礎的・応用学的研究書をはじめ、農地改革、地主制、農業協同組合、農村社会構造の分野に関する論文・調査資料

が体系的に収集されており、これが本コレクションの特色である。

資料は、和・洋単行書 約3,600冊、研究報告、紀要、定期刊行物類約800、論文別刷、農政資料、農村振興資料、農業会議資料など 約 1,700等 約 6,500冊に及ぶ膨大なコレクションである。

この中には、本学図書館蔵書の農業経済学分野に関する資料の不足を補うに足る質・量ともに貴重な文献が多く、ひとり経済学の領域のみならず社会科学全般の研究者の利用に裨益するところ大なるものがあるといつてよい。

本館は、これら膨大な貴重資料を一般蔵書と区別して「須永文庫」と名付け、他の狩野文庫、漱石文庫、ヴント文庫など内外著名学者の個性的特色ある蔵書コレクションと同様に特殊文庫扱いにして整理中である。現在、仮目録作成、評価までの第一期整理計画を終えた段階であるが、続いて登録、目録カード作成、分類、配架、カード目録編成をして、最終的には本文庫の書冊分類目録を編纂して利用に供する計画である。

故須永教授の本学図書館に対する格別の好意に謝意を表したい。

蔵 書 統 計

昭和51年度図書受入冊数

種 別 部局別	購 入 図 書			受 贈 図 書			合 計
	和漢書	洋 書	計	和漢書	洋 書	計	
附属図書館(本館)							
図 書 館	4,930	1,270	6,200	1,106	201	1,307	7,507
文 学 部	3,258	2,692	5,950	559	134	693	6,643
教 育 学 部	1,180	887	2,067	247	71	318	2,385
法 学 部	877	1,382	2,259	44	63	107	2,366
経 済 学 部	1,390	2,162	3,552	440	161	601	4,153
理 学 部	696	2,236	2,932	61	704	765	3,697
教 養 部	4,986	3,497	8,483	86	39	125	8,608
金 研 部	126	644	770	35	13	48	818
農 研 部	301	97	398	61	56	117	515
選 研 部	80	289	369	70	98	168	537
科 研 部	36	144	180	1	0	1	181
速 研 部	264	279	543	37	45	82	625
通 研 部	151	443	594	15	6	21	615
非 水 研 部	148	479	627	52	100	152	779
農 生 部	75	78	153	0	0	0	153
学 部	148	22	170	0	0	0	170
応 情 研 部	12	29	41	61	106	167	208
大 計 研 部	23	33	56	0	0	0	56
小 計	18,681	16,663	35,344	2,875	1,797	4,672	40,016
医 学 分 館	2,613	4,296	6,909	798	797	1,595	8,504 (-157)
農 学 部 分 館	990	915	1,905	443	319	762	2,667
工 学 部 中 央	2,723	3,891	6,614	328	30	358	6,972 (-55)
合 計	25,007	25,765	50,772	4,444	2,943	7,387	58,159 (-212)

注：（ ）内は管理換・減を外数で示した。

昭和51年度図書費決算額および受入冊数

部 局	支出額	受入冊数(増加冊数)
	千円	冊
附属図書館	306,831	40,016
医学分館	74,086	8,504 (8,347)
農学部分館	19,249	2,667
工学部中央図書室	69,452	6,972 (6,917)
合 計	469,618	58,159 (57,947)

全学蔵書冊数

—昭和52年3月末現在—

部 局	和 書	洋 書	合 計
附属図書館	770,336	666,430	1,436,766
医学分館	84,017	138,459	222,476
農学部分館	36,393	25,223	61,616
工学部中央図書室	86,966	89,708	176,674
計	977,712	919,820	1,897,532

仙台市博物館主催

「林子平と北方開拓展」への出陳

去る6月21日より7月17日まで開かれていた標記展示会に本館所蔵の下記資料を出品した。

1. 海国兵談 3冊(寛政3年版)
2. 精校海国兵談 10冊(嘉永4年版)
3. 精校海国兵談 5冊(安政3年版)
4. 三国通覧図説 1冊付図5枚(天明6年版)

「江戸時代図誌 奥州道Ⅰ」(筑摩書房刊)への本館所蔵本の掲載

本館には他に見られない貴重な図書が多いので、国内各地の大学の研究者の利用ならびに、研究出版図書への掲載が増加している。

最近の例としては6月17日に筑摩書房で「江戸時代図誌第7巻奥州道Ⅰ」に掲載する次に掲げる貴重別置本の撮影をした。

1. 御用鈔銭場図絵〔原本〕卷子 1
(大吹、帯解門、イカ銭、納銭)
2. 仙台祭禮行列 2巻〔村松月溪〕写
写本 卷子
(獅子頭他1)

3. 陸奥州駅路図 稿本 卷子 2巻
(小泊、平館、平内、奥戸牧、北上、盛岡) 狩野文庫

いずれも色彩入りの美事な卷子本である。

なお江戸時代図誌は全25巻の予定で刊行中であり、既刊のうち、本館蔵書の2点が已に掲載されている。

1. 江戸時代図誌 中仙道Ⅱ
滑稽旅賀羅寿 十返舎一九撰 文政5
歌川豊国画 狩野文庫
(伊那谷の田舎舞台の図)

1. 江戸時代図誌 西海道Ⅱ
円球萬国地海全図 石塚崔高図 享和二
狩野文庫貴重別置本
(島津26代重豪の開化政策の項に掲載)

「部局図書室連絡会」開かる

昭和49年以来久しく開かれなかった標記の会合が、去る6月8日(水)13時30分より医学分館及び全学の部局図書室より約50名が出席して附属図書館大AV室において開催された。館長・事務部長の挨拶と各課長・掛長の紹介のあと、「予約外国雑誌について」「1977年予約雑誌リストの配布について」「他部局借用証の様式の簡素化について」「文献調査の問合せ方について」等々業務の全般にわたる連絡と報告が行なわれ、質疑応答及び懇談に入って16時30分閉会した。

図書館機械化

ワーキング・グループ発足

図書館業務機械化についてはすでに「コンピューター導入計画に伴う懇談会」があったが、この度、新たにハウス・キーピングの機械化の検討のための館員によるワーキング・グループを発足させることが決まり、和田館長から下記の5名が委嘱されその成果が期待されている。

- ◎ 湯本 一義 (整理課 和漢書目録掛)
佐藤 正弘 (〃 洋書目録掛)
高木 忠 (閲覧課 参考調査掛)
栃原 孝夫 (〃 閲覧掛)
石垣久四郎 (調査研究室)

図書館利用

オリエンテーションの実施

4月12日(火)、14日(木)から16日(土)までの4日間、附属図書館AV室において、昭和52年度の新入生に図書館および図書館資料を効率良く利用してもらうため、カラスライドの映写などによりオリエンテーションを実施した。

昭和51年度 特別図書購入報告

昭和51年度 特別図書購入費によつて下記の資料を購入しましたからご利用下さい。

図 書 名	巻 号	刊 年
Spencer, Herbert. Works. (スペンサー全集)	vol. 1—6 8—21	1966
Grimm, J., Deutsche Grammatik. (グリム「ドイツ語文法」)	vol. 1—5	1967
Nicolai, F., usw. Briefe die neueste Literatur betreffend. (ニコライ「18世紀ドイツ文学関係書簡集」)	Th. 1—24	1974
Rymer, T. Foedera. (ライマー「イングランド中世行政史料集成」)	Tom. 1—10	1739—1745
豊 太 閤 真 蹟 集		昭51
親 鸞 聖 人 真 蹟 成	1—9 卷	昭48
近代中国史料叢刊	第91—97輯	1973
曼 茶 羅		昭50
The Jewish People: history, religion, literature. (ユダヤの民：歴史・宗教・文学)	40冊	1973
Journal of Mathematical Psychology. (数理心理学雑誌)	vol. 1—10	1964—1973
「発声機能と生理」海外医学文献		1975
National Reporter System: Southeastern reporter. 2nd series. (米国東南部州判例集)	vol. 1—103	1939—1958
Great Britain, Public Record Office. Calendar of patent rolls. (英国公記録保存所編 開封勅許状録)	vol. 1—20	1971—1976
Great Britain, Stationery Office. Catalogues of government publications, 1920—1970, Consolidated indexes to government publications. (英国政府刊行物目録)	vol. 1—5	1974
Library of the Institute for Contemporary History Munich. Subject catalog 6 vols. with bibliographical catalog. (ミュンヘン現代史研究所図書館件名目録)		1967
World treaty index. (各国条約索引)	vol. 1—5	1974
検 察 研 究 特 別 資 料	1—4, 6—7, 9—19	昭26—30
Matekon. (数理経済学雑誌)	vol. 1—11	1964—1975
Companies and Men: Business enterprise in America. (アメリカ大企業社史)		1976
Wissenschaftliche Zeitschrift der Hochschule für Ökonomie. (ベルリン経済大学紀要)	Jg. 1—15,	1956—1970
Great Britain, Public Record Office. Documents. (16—17世紀イギリス財政史関係資料)		1976
Comprehensive dissertation index. Suppl. (英国学位論文総合索引)		1973—1974
Dissertation abstracts international. Sect. A, B. (国際学位論文抄録誌)	vol. 35	1975
Biblio: catalogue des ouvrages parus en langue française dans le monde entier. (ビブリオ：フランス語図書出版目録)	vol. 1—21	1934—1954
SCAP (Supreme Commander for the Allied Powers). (米国最高指令部記録) (マイクロフィルム版)		
日本林制史調査資料・徳島・松山・宇和島・九州11藩 その他 (マイクロフィルム版)		

他部局図書借用願（証）について

本学蔵書は約190万冊あるが、本館の約100万冊以外の図書は夫々各分館、図書室、研究室等に備付けられているので、本館にない専門分野の学習、研究には他部局備付図書を利用する必要が生じてくる。

本館の相互利用掛における他部局図書借用願（証）の受付数も年々増加の傾向にあり、昭和51年度は643人に達している。

遠い以前より図書館、分館、図書室間の図書の貸借は行なわれていたが特に一定方式がなく、ノート方式、借用願（証）方式等により、係職員が直接に図書室を廻って利用者に供することがあった。しかし大学の機構が拡大され、利用対象者数も飛躍的な増加を示すようになり、従来の方式では消化することが不可能となったので現在使用している三連付方式が昭和29年4月1日から施行されたのである。（理工系部局備付図書部外閲覧規程）

数年間は活発ではなかったようであったが其後は複写業務、情報網の進歩、蔵書数の増大に伴い、利用者数が激増し、本館では大型サイズの借

用願（証）では保管上、取扱上不便となり、10年前に標準カードサイズにした。

今回、学内各部局で使用している他部局図書借用願（証）を取りまとめて比較調査をしたがその結果は別表1の通りである。これをみると用紙の大きさが不統一であること、また印鑑の数も借受者の印鑑を除いても、1ヶ所から6ヶ所までであり、発行部局表示のないものもある。ただ記載事項の内容はほぼ統一されている。

これらは、全学で相互に利用を行うにあたって出来るだけ同じ様式ของものが望ましく、事務手続の簡素化のため印鑑の数も1ヶ所であることが望ましい。（速研の例）

また寸法についても取扱上標準カード（7.5cm×12.5cm）が望ましい。

望ましい他部局図書借用願（証）は別表2の通りであり、各部局図書室においては、新たに同借用願（証）を印刷発注するときには、この様式を基準にすることが望まれる。

なお昭和52年5月20日に本館で開催された部局図書室連絡会において、検討の結果、上述のことが参加者によって了承されている。

（別表1）

他部局図書借用願（証）の比較調査

昭和52.6.8現在

部 局 別	用紙の大きさ	用 紙 の 記 載 事 項 内 容	氏 名、印鑑の必要箇所（前に掲げた借受者氏名印を除く）						発行部局表示
			A 票		B 票		C 票		（○アリ ×ナシ）
農 学 部	9.1×12.6	図書室御中（注）、発行年月日	国書主任	国書係	国書主任印	国書係印	国書主任印	国書係印	○
非 水 研	9.3×12.9	職名、学年、借受者氏名印	国書主任印	国書係印	国書主任印	国書係印	国書主任印	国書係印	×
選 研	9.4×12.9	著者、書名、誌名、巻、号、頁数	国書主任印	国書係印	国書主任印	国書係印	国書主任印	国書係印	○
通 研	12.4×12.7	期間 日 返却 年 月 日			国書主任印	国書係印	国書主任印	係	○
農 研	7.5×12.5	注 1. 国書主任となっているのが	国書主任印	係	国書主任印	係	国書主任印	係	○
速 研	7.4×12.5	若干ある。			国書主任印				×
全 研	7.5×12.4	2. は若干の部局の様	国書主任印	国書係印	国書主任印	国書係印	国書主任印	国書係印	○
理 学 部	8.0×12.5	式に記載されている。	国書主任	国書係	国書主任	国書係	国書主任印	国書係印	○
医 分 館	7.5×12.5	3. 理学部は連絡先電話を記載				運用掛長印			○
附 属 国	7.4×12.7	している。				相互利用掛長印			○
工 学 部	7.3×12.5				国書主任印				×
教育学部	8.0×12.5			国書係		国書係		国書係	○

A. 借用願（希望受付、保存） B. 借用願（貸付た部局、保存） C. 借用証（返却後A部局へ返却）

（別表2）

望ましい他部局図書借用願（証）

他部局図書借用願 A			国書借用願 B			国書借用証 C		
昭和 年 月 日			昭和 年 月 日			昭和 年 月 日		
国書室			国書室御中			国書室御中		
部局名	職名	借受者	部局名	職名	借受者	部局名	職名	借受者
著者 書名又は誌名 (巻、号、年)			著者 書名又は誌名 (巻、号、年)			著者 書名又は誌名 (巻、号、年)		
返却日 年 月 日			返却日 年 月 日 貸付部局保存			返却日 年 月 日 返却後所属部局国書係へ		

夏季開館時間

夏季休業中の開館時間は下記の通りです。
期間 昭和52年7月11日(月)から8月31日(水)まで。
平日 午前9時～午後5時
土曜 午前9時～正午

米国国立農学図書館長の来館

農林省の招きで来日中の米国国立農学図書館(National Agricultural Library)の Richard A. Farley 館長は、沢本孝久日本農学図書館協議会々長と同道して5月16日来仙し、本館長尾事務部長の案内で川内・青葉山地区の本学施設を視察ののち、図書館長室に和田館長を訪問し、館内を視察した。その後、館長主催の夕食会に臨み、最近の専門図書館をめぐる諸問題について懇談した。なお、夕食会には、柴崎農学部分館長、長尾事務部長が同席した。

「第9回国連寄託図書館会議」の開催と公開講演会のお知らせ

標記会議が、10月6日(木)7日(金)の2日間、東北大学附属図書館会議室で開催されることになった。

会議への参加者は、各国連寄託図書館で国連資料を整理または運用を担当している実務者など約20名の予定である。

なお、10月6日(木)の10時30分から12時まで附属図書館AV室で、東北大学法学部太田知行教授の「欧米における法令、判例の情報検索とコンピュータ」についての記念講演がある。関心のある方は誰でも聞くことが出来る。

総合研修委員会の52年度委員きまる

全学の図書職員の業務遂行に必要な知識の研鑽とその資質向上をはかるため、附属図書館に上記の委員会がおかれている。今年度の委員選挙は5月11日に行なわれ、その結果下記5名の館員が館長より委員として委嘱されてこの1年間の計画やその運営に活躍することになった。

- ◎ 及川三千男(閲覧課閲覧掛長)
- 松井 好次(閲覧課閲覧掛)
- 湯本 一義(整理課和漢書目録掛)
- 栃原 孝夫(閲覧課閲覧掛)
- 細谷 伸枝(整理課和漢書目録掛)

行事予定

- 9月21日～22日
第51次国立七大学附属図書館協議会および第10回国立七大学附属図書館部課長会議開催。
於、京都大学
- 10月6日～7日
第9回国連寄託図書館会議開催。
於、東北大学
- 10月20日～21日
第32回東北地区大学図書館協議会総会開催。
於、岩手大学
- 10月25日～26日
国立大学図書館協議会一理事会一開催。
於、東北大学

永年勤務者表彰

本学永年勤務者の表彰式が、本学創立記念日の6月22日(水)に、市内広瀬町の長陵会館において午前10時30分から行われた。

この表彰は、本学に通算満20年勤務した者に対し、大学長から贈られるもので、本年は全学で40名の該当者があり、本館では総務課会計掛の後藤治子氏に表彰状と記念品が贈られた。

当日大学の表彰式終了に引き続き、本館においても館友会主催による受彰祝賀会が館員全員が出席し盛大に挙行された。

人事異動

(5月16日付)

(本館)総務課会計掛

事務補佐員 佐藤 隆

歯学部会計掛(文部事務官)に配置換

(7月1日付)

(本館)総務課庶務掛

事務補佐員 岡本 勝寿

庶務部入学主幹(文部事務官)に配置換

遠藤 ひとみ

(本館)総務課庶務掛(事務補佐員)に採用

選鉱製錬研究所、事務補佐員 佐久間 のぶ子

(本館)総務課会計掛に配置換

東北大学附属図書館報「木遣子」 第2巻 第2号(通巻6号) 昭和52年7月30日発行

編集委員長 松井好次 編集委員 竹原悦郎、田代 寛、沼田恵美、菅野博之、細谷伸枝

発行人 長尾公司 発行所 東北大学附属図書館 仙台市川内 電話 代表 22-1800(5158)